

令和4年度学校経営方針

養父市立建屋小学校コミュニティ・スクール経営プラン

養父市立建屋小学校

1 学校経営の基本理念

【自立・協働・創造】

急速に進展するグローバル化、少子高齢化、情報化など、予測困難な変化の激しい時代を生きる子どもたちには、多様な人々と協働しながら主体的に社会に参画する態度やたくましく未来を切り拓いていく力が求められている。また、どのような状況・環境であっても、「答えのない問題」に対し自らの力で最善解を導くことができる力を身につけなければならない。

志を高く持ち、主体的に考え・判断しながら、社会（地域コミュニティ）と関わり、豊かな未来創りに挑み続ける人材、地域の未来を支える人材を育てることが学校の使命である。そのために、本校では、小規模特認校として取り組んできたグローバルな教育を進め、「地域とともにある学校」づくりを保護者・地域とともに進めていく。

※グローバルな教育とは

グローバル教育（英語教育を通して多文化の理解を進める）と

ローカル教育（演劇を通して地域文化への愛情を深める）を合わせた造語

2 コミュニティ・スクール「教育目標」

「ふるさとを愛し 自ら学び 未来に挑戦する建屋っ子の育成」

郷土である建屋小校区、そして養父市を愛し、ふるさとでの学びをもとに主体的な判断と行動、協働性を発揮しながら、何事も前向きに生きていくことのできる力を育む。

「何のために」という課題意識を大切にした教科指導、児童の心を揺さぶる道徳、自他の命を大切にす態度の育成を重点に、心に思う「夢や目標」などの達成に向け、「知」「徳」「体」をバランス良く育むことをめざす。

3 重点目標

「つながりの中で学びの主人公を育てる」

～志を高め、挑み、振り返り、成長し続ける子どもの育成～

「横」のつながり

・コミュニティ・スクールの充実を図り、地域の核となる学校づくり、「地域とともにある学校」づくりを推進する。

※人材バンクの拡充（たきのやっ子応援団再募集）と積極的な活用を図る。

・学校・家庭・地域・関係機関の4者による双方向での交流を積極的に進める。

・小小連携、地域協働活動等を通して、地域社会とのつながりを深める。

・関係機関や企業、大学等から講師を招聘し、講演会や研修会を開催するなど、教職員の資質向上を図る。

・養父市子どもサポート室やSC（スクールカウンセラー）、SSW（スクールソーシャルワーカー）、学校生活支援教員（通級指導担当）、学校問題サポートチーム・学校支援専門員（但馬教育事務所）による専門的な指導と行内研修の実施。

「縦」のつながり

・三谷こども園との交流

就学支援についての説明会（4/23）、オープンスクール（随時）、こども園体験入学（2/17）

・養父中校区の3小学校と中学校が「めざす生徒像」を共有し、小中一貫教育を推進するとともに、「子どもを守り育てる」仕組みづくりを堅固にする。

※6年生中学校登校（学期1回）の充実を図る。

・キャリアノートやキャリアパスポートを活用しながら、義務教育9年間を貫く、高等学校等義務教育終了後につなげるキャリア教育を推進する。

・一人一人の子どもや保護者の願いを踏まえながら、きめ細かな指導、個に応じた指導を推進するとともに、特別な配慮を要する子どもに対しては、就学前から小学校へ、小学校から中学校・高等学校等へと支援をつなぎ、子どもの自立と社会参画を促す。

(1) めざす子ども像(地域の未来に貢献できる子)

○学ぶことの大切さ、楽しさを知り、自ら学ぶ子（知）

○自分の思いを伝え、人の思いに耳を傾け、よりよく生きようとする子（徳）

○自分の心と身体を知り、健全に生きようとする子（体）

《具体的な子どもの姿》

<自尊感情・謙虚・勤勉さ・優しさ>

自信が持てる子 自分が好きな子 自分の思いを話せる子 人の良いところを認められる子
まじめな子 ありがとうが言える子

<向上心・健康>

勉強を楽しんでできる子 好奇心旺盛な子 続けられる子

<学校愛・地域愛・コミュニケーション>

あいさつできる子 大人の人と話ができる子 建屋が好きな子 学校が好きな子

(2) めざす学校像(児童・教職員・保護者・地域がつながる学校)

子どもの夢と志の実現を支える学校

あいさつと歌声の響く活力ある学校

一人一人が大切にされ、安全・安心な学校

保護者や地域と共に歩む信頼される学校

(3) めざす教師像(地域の担い手と地域を育てる教師)

- 使命感、教育愛に満ち、児童の良さや可能性をのばす教職員
- 人権感覚に優れ、子どもとともに学ぶ教職員
- 自らの資質能力と実践的指導力の向上を図り、児童・保護者・地域から信頼される教職員

(4) 期待する家庭像(地域の方とともに地域の担い手を育てる家庭)

- 親子で目標を決め、目標に向かって努力する家庭
- 家族同士で「あいさつ」を交わし合う家庭
- 基本的な生活習慣を身につける家庭
- 学校や地域の行事に進んで参加・参画する家庭

(5) 期待する地域像(児童と学校とつながる地域)

- 学校の重点目標を共有し、共に進める地域
- 子どもの安全・成長を見守る地域
- 地域行事に子どもたちが参加・参画する地域
- 学校教育・家庭教育を支える地域
- 学び続ける大人がいる地域

3 本校の教育課題・経営課題

(1) 教育課題

- 基本的な学習規律の継続的な指導を行い、「主体的・対話的で深い学び」の基盤とする。

※学級開き、学期はじめの学習規律づくり

※校内研修、OJT、講師招聘による教職員研修

- 個性を大切にしながら児童同士のつながりを活かした深まりのある学びを創り出す。

- 家庭と連携し、「そうあんくんの日」の充実を図る。

令和4年度の重点：読書活動の充実 → 読解力・言語力の向上

- 様々な運動に取り組める環境整備や体育事業の充実を図る。

「たきのやっ子応援団」による学習・環境サポート

(2) 経営課題

- 「『生きる力』を生涯学ぶまち 養父市が育むこころ豊かで自立する人づくり」の推進

- 学力向上に向けた授業改善GIGAスクール構想の推進教職員の指導力向上

※タブレット端末、デジタル教科書(英語・音楽等)の活用促進

- 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた学校行事の創造

- 小規模特認校制度の推進「選ばれる魅力ある学校づくり」
- 学校・家庭・地域の協働
- 学校が、就学前幼児や地域の方の学びの場となる活動の推進
- 働きやすい職場、教育環境づくり

4 コミュニティ・スクール共同活動

～めざす子ども像に向けて、学校・家庭・地域が果たす役割、連携して取り組む主な内容～

○「学ぶことの大切さ、楽しさを知り、自ら学ぶ子」を育てる

<学校>

- ・ 特色ある英語教育の推進、英語学習を通じたコミュニケーション能力の向上
- ・ 子ども一人一人のニーズに応じた学びづくり
 - ※「わかる授業」「できる授業」 喜びや達成感が感じられる授業
- ・ 小中一貫教育の推進
 - ※中一ギャップの解消に向けた取組の充実（6年生中学校登校）
 - 学びの主人公を育てる「ノート指導」R4重点

<家庭>

- ・ 家庭学習の確立
- ・ 自主学習の充実「そうあんくんの日」の取組
 - 読書活動の充実 ～言語力や読解力を高める読書指導～ R4重点

<地域>

- ・ 学習支援ボランティア建屋っ子応援団
 - 「たきのやっ子教室」（放課後子ども教室）の充実
- ・ 地域との協同による「ふるさとキャリア学習」

○「自分の思いを伝え、人の思いに耳を傾け、よりよく生きようとする子」を育てる

<学校>

- ・ 「慎独」等、池田草庵の言葉を今につなげた生徒指導
 - 「月間目標」に基づく実践 例：4月「筆硯整齊」
- ・ 演劇活動で培った表現力を生かした活動
- ・ いじめの早期発見早期対応、情報モラル教育
 - 全職員での共通理解（職員会議等での情報交換）

いじめアンケート、生活アンケート、i-check等を活用した児童理解

<家庭>

- ・ 地域・家庭生活での道德実践力の育成
- ・ 地域行事への参加

地区行事、クリーン作戦、養父市一斉避難訓練等への親子参加

- ・ 「養父市子どもSNSルール」をもとにした情報モラル指導
情報リテラシーの育成（DQ）、養父市子どもSNSルールを活用した実践

<地域>

- ・ 地域行事への子どもたちの参加の推進
- ・ 図書ボランティア、読書ボランティア
お話広場、チャレンジ読書、おすすめ図書〇冊

○ 「自分の心と身体を知り、健全に生きようとする子」を育てる

<学校>

- ・ 体力アップの取組
運動能力テストの結果分析に基づく体力向上の取組
体力アップサポーター派遣による体育の授業（水泳、陸上）
夏休みラジオ体操や遊びを通した健康・体づくり
「山の学校」や自然学校、遠足等のプログラム検討
- ・ サーキット運動（遊びの要素を取り入れながら）
- ・ レッツすたあと運動（生活指導）

<家庭>

- ・ 養父市「親子ではぐくむ『5つの生活習慣』」の推進
- ・ スポーツ教室への積極的な参加
養父市陸上競技大会、駅伝大会、子連協ドッジボール大会、スキー教室 等

<地域>

- ・ 登校時の見守りと声掛け、安全パトロール
- ・ 学校と協働したスポーツ教室の開催

Let's すたあと 運動

- ★す りっぱ はきもの そろえてト
- ★た きのやっこ グー ペタ ピン
- ★あ いさつ・へんじ 日本一
- ★と にかく 話は 最後まで